

(令和3年3月試験研究業務月報)

試験研究課題：画像等を活用した丸太情報の見える化と木材流通のスマート化

情報

第71回日本木材学会大会で優秀ポスター賞を受賞

京都府産木材の利用拡大及び供給量の増加が求められている中、当センターでは、ICT技術を活かした流通の合理化と丸太生産の低コスト化を目指し、はい積みされた丸太の画像をもとに本数・径級・材積を解析する「木材検収アプリ」と、丸太段階で製材品の強度等級を推定する「強度推定アプリ」の開発に取り組んでいます。

今回、3月19日～21日に開催されました木材学会年次大会において、アプリの活用を想定した木材流通の合理化とコスト削減効果の検証結果を報告しましたところ、その内容が認められ優秀ポスター賞を受賞しました。

木材学会は、新型コロナウイルス感染症拡大防止の観点からオンラインでの開催となりましたが、興味がある参加者から多数のコメントが寄せられるとともに、別途意見交換を依頼されるなど、今後の研究の広がりや弾みをつけることができました。



発表したポスター



ポスターセッション(オンライン)の発表画面

<参考>

・第71回日本木材学会大会 URL
<https://www.jwrs.org/wood2021/>

・優秀ポスター賞受賞者一覧 URL
https://www.jwrs.org/wood2021/file/poster_p.pdf